

平成31年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

通し 番号	2	事業分野：共同制作支援事業
		助成対象団体名：公益財団法人神奈川県芸術文化財団
<p>助成対象活動に関する評価</p> <p>（妥当性）</p> <p>本事業は神奈川県立県民ホール、愛知県芸術劇場、札幌文化芸術劇場 hitaru、東京二期会、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団が共同し、各地域の合唱及び舞台スタッフ等が参加することで、共同制作による大規模な「カルメン」全6公演を実現した。本事業を実施するに当たり、代表館である神奈川県立県民ホールが経費のとりまとめ・出演者交渉、他2劇場がツアー手配や各種広報・宣伝と、役割分担をすることによって個々の割り当て内容を充実させることができた。</p> <p>以上のことから、共同制作の意図や役割分担など事業が適切に組み立てられていたと認められる。</p> <p>（有効性）</p> <p>3劇場ともそれぞれの経験を活かし、レベルの高い共同制作を行っており、入場者数・入場者率は一部を除き目標を達成していることから、有効性が概ね認められる。</p> <p>（効率性）</p> <p>事業はほぼ計画通り実施されており、事業期間は適切であったと認められる。また、事業費については、要望時の予算額と報告時の実績額とを比較すると、一部の費目に増減があったものの、ほぼ計画通り執行されており、適切であったと認められる。</p> <p>（創造性）</p> <p>本公演「カルメン」は、演出家・田尾下哲による新制作であり、オリジナルの舞台がスペインのジプシー社会であるのに対し、本公演はアメリカのショー・ビジネス世界が舞台に設定された、大胆な読み替え演出であった。場所はもちろんのこと、カルメンは大女優、ミカエラはダンサー、ドン・ホセは警察の巡査部長、エスカミーリョはスター俳優、と登場人物の設定も大幅に変更されている。（第1幕）ショーのオーディション（第2幕）ブロードウェイ劇場（第3幕）落ちぶれたスターたちがサーカス一座へ（第4幕）アカデミー賞受賞式の劇場前、と幕ごとにオムニバス形式で進行していく手法は斬新さを感じさせ、公演は一定程度の水準を満たしていた。</p> <p>本公演で圧巻だったのは、ミカエラ役の高橋絵理であり、達者な演技に合わせて柔らかくも美しい高音を豊かに響かせた。今後のソプラノ界をリードする一人と期待ができる。オーケストラは、レイサム＝ケーニックの指揮による神奈川フィルハーモニー管弦楽団がレベルの高い演奏で舞台を支えた。田尾下の「読み替え」演出が、現代社会のタブーや時代錯誤を回避し、今の時代に舞台を転換したことは納得もでき、オペラ上演の新たな可能性、社会性を示した意欲的な公演であった。</p> <p>以上のことから、3つの劇場の国内における評価の向上に一定程度つながったものと認め</p>		

別紙（事後評価書）

られる。

（総 評）

当該共同制作 ビゼー作曲 オペラ「カルメン」全4幕は、妥当性、有効性、効率性、創造性において、概ね適切であったと認められる。